

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和6年1月25日

事業所名:おりーぶ瑞ヶ丘

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	事業所内はワンフロアになっており、広々としたスペースが確保出来ている。定員に達していても十分ゆとりを持って過ごすことが出来ている。	・広くていつも片付いています。 ・人数に対して十分にスペースが確保されていると思います。	今後もご利用者様がゆとりを持って過ごすことが出来るようスペースをしっかりと確保し、安心して通所出来るような環境づくりを心がける。
	2 職員の適切な配置	小・中・特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士、セラピスト等、療育に適した職員を配置している。		個々の特性や発達段階に応じて支援を行うことが出来るよう、今後も適切な職員配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内はワンフロアになっているが、学習スペースと余暇スペースを分けることで、特性のあるご利用者様にもわかりやすい構造になっている。	・遊ぶ空間と勉強する空間が分かれているので、子どもの気持ちの切り替えがしやすいです。	今後もご利用者様が安心して通所出来る環境や見通しを持って過ごすことが出来る構造に配慮して整備を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	療育終了後には、必ず室内の清掃に加え机やイス・手すり等のアルコール消毒を行い、清潔を保っている。	・おもちゃの分類なども出しやすく片付けがしやすいよう工夫がしてあります。 ・面談で行った時に、清潔だと感じました。	今後もご利用者様が快適で安心して過ごすことが出来るよう、清潔で整った環境づくりを心がけていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	療育終了後にはその日の振り返りを行い、課題があった場合は次の療育に向けて、改善策を話し合っている。		今後も業務が円滑に進み、且つ、より良いサービスを提供するために、職員には積極的に参加してもらう。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現段階では実施していない。		必要に応じて評価機関を利用し、業務改善を行えるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内で研修の実施、外部研修への参加、オンラインを使用した研修等にも参加する機会を作っている。		今後も積極的に外部機関での研修を設け、職員の資質が向上するようにしていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に一度、アセスメントやケアカンファレンスを行い、個別の課題を検討した上で、ご利用者様や保護者様のニーズを考慮しながら個別支援計画を作成している。	・いつも丁寧にヒアリングさせていただきます。 ・出来ている事をきちんとほめてくれて出来ていない事に対してきちんと声掛けをいただいています。 ・子どもの普段の様子をよく見て頂いているので、的確な支援計画を作成して頂いています。	今後も定期的なアセスメント等をしっかりと行い、ご利用者様や保護者様のニーズを考慮した上で個別支援計画が作成出来るようにしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の課題に加えて、集団生活を送る上での課題を設定し、個別支援計画を作成している。		今後も個々の特性や発達段階に応じて、個別課題と集団での課題を組み合わせた個別支援計画の作成を行う。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画を作成する際には、ケアカンファレンスで出た内容をもとに、保護者様との面談後、課題を設定し個々に応じた支援内容を記載するようにしている。		個別支援計画には個々の課題に応じた支援内容の設定を行い、具体的に分かりやすく表記できるよう心掛ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画を作成した後は、職員間で必ず共通理解を図っている。個々の課題に応じて、支援内容に沿った療育を行うようにしている。	・日々の活動様子を伝えてくれて安心して通所させています。	個別支援計画は必ず共通理解を行い、支援内容に沿った療育を行うことで、課題達成に繋がるようにしていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的に会議の時間を設けている。次月に行うイベントの内容やプログラムの決定、それに伴い必要な物品を確認したり、連絡調整等を行ったりしている。	・色々なイベントがあり楽しいみたいです。 ・お買い物学習やボルタリング等様々なプログラムがある。 ・毎回とても楽しみにしています。 ・イベント内容に満足しています。	今後も職員間で活動プログラムの計画を行い、ご利用者が楽しみながら療育に参加することが出来るよう心掛ける。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学習、休日は活動に重点を置いて支援を行っている。長期休暇は学習と活動を組み合わせたプログラムにする等、その日に合わせた支援が出来るように心がけている。	・イベントなど伝えると「行く！行く！」と、とても楽しいようです。 ・おーびが無いと寂しがっています。 ・学校を休むと行けないと落ち込んでます。 ・今は学校に行けていないので平日は行きたくないようですが、休日のイベントは楽しみにしています。	ご利用者の特性やニーズを考慮しながら、平日や休日に応じたプログラムや支援が提供出来るようにしていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月、箱庭療法や季節に応じたイベント、製作等の手先を使った作業、ボルタリングやサーキットの運動を行うなどして、プログラムが固定化しないようにしている。	・高学年になっているのでどちらとも言えません… ・いつも同じ流れなので、週ごとにでもプログラムがあれば良いと思います。 ・イベントが土曜日のみなので利用しづらい。	今後もご利用者のニーズに応じたプログラムを設定し、楽しんで参加出来る活動が提供出来るように心がける。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育開始前には、前回の療育を振り返り、問題や課題があった場合はその改善策とそれに対する役割分担を確認するようにしている。		療育開始前のミーティングをしっかりと行い、当日の支援内容や役割を把握した上で療育が行えるようにする。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後には必ず振り返りを行い、日々の申し送りや連絡ノート等を使って共有化を図っている。問題や課題があった場合は次の療育に繋げるようにしている。		日々の振り返りを大切にし、職員間での共通理解の徹底、課題・問題解決を行い、次の療育がより良いものになるようにしていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	療育終了後には必ず個々の記録を残し、課題を解決するための支援の検証・改善に活用できるようにしている。		課題解決のため、職員全員が支援内容をしっかりと把握し、均一化した支援が提供出来るようにしていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度モニタリングの実施を行い、個々の課題が達成されているか、達成されなかった際の原因と今後の方向性を見直している。		今後も半年に一度のモニタリングをしっかりと行い課題解決に向けての見直しを行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	ご利用者様の状況を把握した児発管が参加出来るようにしている。		今後ご利用者様の状況を把握している職員が参加出来るようにしていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要がご利用者様はいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要がご利用者様はいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	法人が運営している児童発達支援の事業所から放課後デイに上がってくるご利用者様がいます、必然的に支援内容の情報共有が必要になっている。小学校とも学校の先生を通して情報の共有が出来ている。		ご利用者様に対しての支援をより良い物にするため、他機関との情報共有を積極的に行い日々の療育に活かしていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ卒業生が出ていない。		今現在卒業生が出ていないが、今後卒業生が出ることを考慮し、学校卒業後の情報を提供することが出来るよう、情報収集を行っておく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	普段から連携をとっており専門機関から、研修の案内をいただき研修を受けることが出来ている。		今後も専門機関との連携をとり、情報を提供してもらいながら、外部での研修を受けることが出来るように努める。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現段階では実施していない。	・そのようなイベントは見たことがなく分かりません。 ・この部分についてはちょっと分からなかったんですが、おーぶの中で交流出来ていると思います。 ・聞いたことがない。 ・子ども自身が児童クラブに通っています。	ご利用者様や保護者様からの要望があれば前向きに検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所単体では実施していない。法人が運営しているフリーマーケットでは、ご利用者様だけでなく、地域の方にも参加していただいている。		法人が運営する行事に参加することで地域住民との交流を図る。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援内容や利用者負担額について説明させていただいている。		今後も契約時に説明を行うが必要に応じて対応出来るようにしておく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年に一度の個別支援計画更新後、送迎時や電話で支援内容の説明を行っている。	・定期的に面談があり、支援計画等相談しながら、ご説明いただいています。	個別支援計画作成後には必ず説明を行った上で同意を得ることが出来るようにしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	モニタリングや面談の際、必要に応じて行っている。その他にも要望があれば対応出来るようにしている。	・STの先生からのお手紙に家庭での関わり方のヒントになる事があります。 ・内容が分からずすみません。出来ていると思います。	必要に応じてペアレント・トレーニングが実施出来るよう体制を整えておく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	ご利用者様の状況や課題については、送迎時の申し送りや連絡帳、電話連絡を通して保護者様と共通理解出来るようにしている。	・送迎時に当日の状況等教えていただいています。 ・送迎の際よく様子を伝えてくださいます。	今後も保護者様との日々のやり取りを大切に、ご利用者様の状況が共有出来るようにしていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様から相談があった場合には、早急に対応出来るようにし、適切な助言が出来るよう心がけている。	・面談はとても助かります。 ・勉強の面など気になる所も教えてもらって助かっています。 ・定期的に面談していただいています。 ・モニタリング時に実施。	モニタリングや面談だけでなく、必要に応じて適切な対応が出来るよう心掛ける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現段階では実施していない。	・保護者会があるのか不明。 ・以前児童の方ではありましたが、デイでもありましたか？	保護者様からの要望があれば前向きに検討したい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は、状況を確認した上で迅速且つ適切な対応が出来るように心がけている。		今後も適切な対応が出来るよう体制を整えていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時の申し送りや連絡帳、電話連絡を通して保護者様にご利用者様のことについての情報をお伝え出来るようにしている。		今後も保護者様との日々のやり取りを大切に、ご利用者様の状況が共有出来るようにしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・前月の活動内容をまとめた通信や次月のイベントの情報を毎月お配りしている。 ・SNSで活動内容の発信を行っている。	・毎月、写真付きでプリント配布あり。 ・毎月通信をいただいております。写真や文章の様子が分かります。(行事予定も) ・写真いつも楽しみにしています！ ・Instagramフォローしていますが、全く関係の無い投稿が多い。	引き続き通信の配布やSNSなどを通じて事業所の情報が発信出来るようにしていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については慎重に取り扱うようにし、書類やUSB等のデータは鍵付きのロッカーに保管している。	・配慮があると信じています。 ・顔が隠しきれてない物を見たことがあった。	今後も個人情報の取り扱いには十分留意し、慎重に扱っていく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各項目に応じたマニュアルを作成しており職員間で共有出来るようにしている。今年度新たにBCPと安全計画の作成も行っている。		保護者様への周知を行い、緊急時の対応について理解が得られるようにしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、地震や火災等の災害を想定した訓練の実施を行っている。その際に、避難経路や最終的な避難場所の確認も行っている。その都度振り返りを行い、日頃から災害の発生について意識出来るようにしている。	・月間予定に訓練日あり。 ・定期的に避難訓練をしていただいています。	定期的な訓練を行い、防災への意識が高まるようにしていく。非常時落ち着いて行動出来るよう繰り返しの訓練を行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止や身体拘束についての指針やマニュアルの読み合わせ、それらに関する動画の視聴など、年2回事業所内での研修を行っている。		虐待防止委員会の実施、事業所内での研修を徹底し、適切な対応が出来るようにしていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束については契約時に保護者様に説明している。やむを得ず身体拘束を行う場合は身体拘束適正化委員会で決定した内容を十分に説明した上、保護者様の同意・個別支援計画への記載を行っている。		身体拘束適正化委員会の実施、事業所内での研修を徹底し、適切な対応が出来るようにしていく。必要に応じて委員会で決定した内容を保護者様へ説明した上で同意を得るようにする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対象となるご利用者様が在籍していない。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があった場合については必ずヒヤリハットを作成し、職員間での共通理解を図る。同じことを繰り返さないように次の支援に繋げている。		今後も事例があった場合はヒヤリハットの作成を行い共通理解を図り、同じことを繰り返さないよう職員間での意識が高まるようにする。